

# こんにちは もうり 栄子です



コロナの感染拡大に加えて物の値上がりやひどく、どなたもが不安を抱えながらの生活を余儀なくされています。

11月議会では施設内療養の中で亡くなられた高齢者の皆さんの実態を明らかにするとともに、県営住宅への入居がしやすい条件を整えること、児童養護施設や里親に育てられ、社会に巣立った若者の自立生活を継続的に支援することを求めて一般質問させていただきました。

戦争する国づくりではなく、平和で人にやさしい社会をつくるために今年も精一杯駆け抜けます。

## 高齢者施設での 新型コロナウイルス療養の見直しを！

**毛利** 高齢者施設でのクラスターの発生状況、施設内療養の状況、高齢者施設内での死亡者の状況は？ また、そもそも施設内療養には無理があると考えますが、「原則施設内療養とする」現在の方針を見直すことや、続けるとすれば現状の支援策を強化することが求められると思うがいかがか。

**健康福祉部長** 9月26日以降の高齢者施設でのクラスターは266件、県内の高齢者施設療養は1350施設中、321施設で

行われている。これまでの死亡者516名のうち、施設内での死亡者は76名。施設内療養は患者受入れ病院に過度の負担をかけるためにも必要。施設への支援はクラスター発生時に 感染管理認定看護師の派遣、検査キットの配布等行ってきた。施設内療養に要する経費等への補助上限額を従来の2倍にする予算案を今議会に提出しており、さらに支援を強化していく。



## 県営住宅入居時の 保証人廃止に加え承継者の拡大を！

**毛利** 名義人が死亡もしくは離婚などでいなくなった場合の入居者の承継については配偶者のみであり、親子承継が認められず住み慣れた住宅を退去するよう言われ困っているなどの例もある。県によっては子や孫まで広げているところもあり、承継の枠を広げる運用をしてい

ただきたい。

**建設部長** 承継できる方は原則として配偶者としているが、高齢者や障がい者等、特に 居住の安定が必要な方についても承継を認めており、引き続き個々の事情を丁寧に把握して適切に対応していく。

## ケアリーパー（児童養護施設や里親からの保護を離れた人） 支援の充実を！

**毛利** 児童養護施設を高校卒業などで離れた若者が悩みや生活の困難を抱えて困っている事例がある。長野県社会福祉協議会などの6団体が「社会的養護出身の若者サポートプロジェクト」を立ち上げ、アパートの確保、なんでも相談、就労支援などに乗り出した。県としての評

価と関わり方についての考えは？

**こども若者局長** 民間団体等様々な機関の協力を得た幅広い支援体制が構築されるということにつながり、支援の充実に向けた非常に有効な取組だ。今後も引き続き本プロジェクトと連携し、支援・充実に取り組む。

## 農政委員会より

肥料・飼料価格が高騰し、農家から悲鳴が上がっている中で、県や国の支援は半分にも満たないため、差額分を補填できるものにして欲しいと質問。県は経産牛1頭に国の支援1万円に加え、県独自に8000円上乗せしてい

る。育成牛についても国の支援がないなかで1頭8500円支援していると答弁。しかし、赤字幅は埋まらないため、さらなる充実を求めました。審議の中で紹介議員にさせていただいた農民連の請願は全会一致採択。



## 林務委員会より

向こう5年間の森林税延長提案がされるなか、林業労働者が漸減する中で、国の森林環境譲与税1000円の徴収が令和6年から始まる。森林税収入6億7000万円に加え国から森林環境譲与税が18億円来る。使いきれずに

不正を生んだ大北森林組合の二の舞にならないかと質問。県側は主伐に加え再造林を実施するために予算が必要、労働力は季節労働者やアルバイトなどで確保と答弁。不安材料が多いため、税の延長には反対しました。

